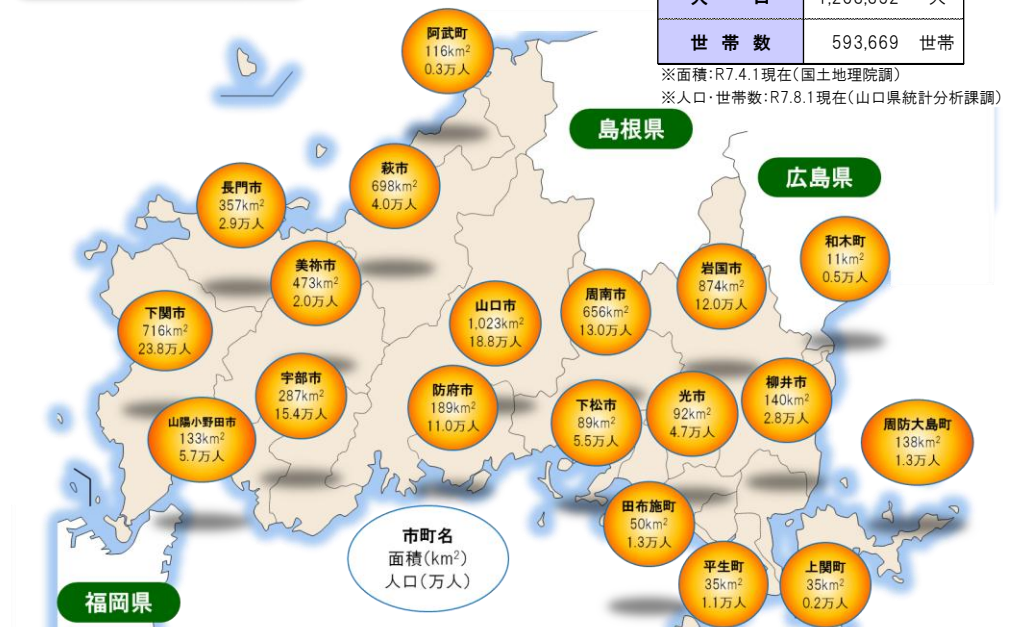


山口県の地勢・概況

山口県は、アジアに近接し、古くから大陸との交流の窓口の役割を果たすとともに、本州と九州、四国を結ぶ交通の要衝にあり、国土構造上重要な西日本の結節点に位置しています。中央部を中国山地が走り、日本海、響灘、瀬戸内海と三方が海に開け、多彩で豊かな自然に恵まれており、本県の産業、生活、歴史・文化は、この豊かな環境から多くの恵みを受けながら育まれました。

令和7年8月1日現在、本県の人口は約126万人、面積は約6,113km²となっており、13市6町で構成されています。地方中枢都市である広島、福岡・北九州等に隣接し、活発な交流が行われている一方、中核となる都市がなく、中小都市が分散する都市構造となっています。

市町別面積・人口



主な河川

河川	流路延長(km)	流域面積(km ²)
1 錦川(二級河川)	110.3	884.9
2 阿武川(二級河川)	82.2	694.8
3 厚東川(二級河川)	59.9	405.3
4 佐波川(一級河川)	56.5	466.0
5 厚狭川(二級河川)	43.9	251.8

主な湖沼

湖沼	満水面積(km ²)	最大水深(m)
1 常盤湖	0.81	10.4
2 長沢の池	0.31	5.0
3 万年池	0.26	8.6
4 青海湖	0.24	2.0
5 江汐池	0.14	8.0

主な山岳

山岳	標高(m)
1 寂地山	1,337
2 右谷山	1,234
3 小五郎山	1,162
4 羅漢山	1,109
5 弟見山	1,085

主な島

島	面積(km ²)
1 屋代島	128.49
2 平郡島	16.56
3 青海島	14.82
4 長島	13.69
5 笠戸島	11.66

山口県のシンボル

鳥 ナベヅル

周南市八代に10月飛来、3月に去る。鳥獣審査会選定。(昭和39年10月13日指定)

魚 ふく

県内で水揚げされる魚の代表種であり本県の歴史とのかかわりも深い。県の魚選定委員会が選定(平成元年8月26日指定)

木 アカマツ

県内いたるところにあり、県を象徴するにふさわしい。県木審議委員会が選定。(昭和41年9月14日指定)

獣 ホンシュウジカ

華山、天井嶽周辺に主として生息している。鳥獣審議会選定。(昭和39年10月13日指定)

花 夏みかんの花

日本では山口県が原産地である。郷土を象徴する花としてNHKが選定。(昭和29年3月22日発表)

主な観光地

■観光客数 (単位: 人、%)

R6	32,410,820
R5	31,025,606
前年増減	1,385,214
前年比	104.5

(山口県観光政策課調)

県北部

- 萩城下町(萩市) **世界遺産**
- 松下村塾(萩市) **世界遺産**
- 青海島(海上アルプス)(長門市)
- 元乃隅神社(長門市)
- 長門湯本温泉(長門市)
- 惣郷鉄橋(阿武町)

県東部

- 錦帯橋(岩国市)
- 白壁の町並み(柳井市)
- 片浜ヶ浜海浜公園(周防大島町)
- 周南工場夜景(周南市)
- 冠山総合公園(光市)

県西部

- 海響館(下関市)
- 角島・角島大橋(下関市)
- 関門「ノスタルジック」海峡(下関市) **日本遺産**
- きららビーチ焼野(山陽小野田市)

県央部

- 瑠璃光寺五重塔(山口市)
- 湯田温泉(山口市)
- 秋吉台・秋芳洞(美祿市)
- ときわ公園(宇部市)
- 防府天満宮(防府市)